

平成22年6月10日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード 8732 大証ヘラクレス)  
 問合せ先 取締役CFO 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 平成22年5月次 月次概況(速報)のお知らせ

平成22年5月次の当社グループの月次概況(連結ベース)を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

## 記

年 月	平成 21 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	1,073	1,029	1,064	851	782	874	923	813	656	928	777	697
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	65,379	65,376	71,623	62,545	57,906	59,165	63,775	58,187	62,076	77,652	70,481	75,109
顧客口座数 (単位:口座)	84,100	88,675	92,763	96,660	99,811	104,065	107,250	110,222	113,275	116,632	119,881	123,278
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	25,519	22,605	22,453	23,369	23,798	24,198	24,524	26,124	27,295	25,444	27,331	25,557

年 月	平成 22 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位:百万円)	794	775	860	843	1,249							
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	75,878	71,294	66,193	79,232	137,860							
顧客口座数 (単位:口座)	126,746	130,930	133,213	135,141	137,924							
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	28,234	30,319	26,375	28,316	28,099							

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。  
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。  
 4. 平成20年6月より外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

## (1) 営業収益

: ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分していません。

## (2) 外国為替取引高

: ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

## (3) 顧客口座数

: ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれていません。

- (4) 外国為替取引預り証拠金：ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 5月次の概況 >

5月の外国為替市場は、月初、ギリシャの財政再建問題に端を発した信用不安の影響等により、米ドル／円が約5ヶ月ぶりに87円台をつけたのをはじめ、ユーロ／円は約8年半ぶりに111円を割り込む等、急激な円高が進む動きとなりました。その後、欧州財政不安への支援策が発表され一時円安に向かいましたが、先行き不透明感等が払拭されない中、ユーロ／円が108円台をつける等再び円高基調となり、月を通じての変動率は平成21年1月次に匹敵する水準での推移となりました。この結果、外国為替取引高は、7日に1営業日当たりの取引高としては過去最高を更新する等、前月比約74%増加の137,860百万通貨単位となりました。一方、営業収益は、大ロット超短期取引の増加等に伴いカバー取引の効率性が低下したものの、月次の数値としては当社設立以来2番目の水準となる1,249百万円を計上いたしました。顧客基盤については、急激な円高による預り証拠金の減少等の影響は限定的であり、顧客口座数は前月比2,783口座増加の137,924口座、外国為替取引預り証拠金は、前月比217百万円減少の28,099百万円となりました。

以 上